

## ◇令和5年紋別地区漁船組合員大会を開催◇ 道北支部

今年北海道では異常な暑さを記録、紋別地方でも前日から気温と湿度が再び上昇し、道民にとって経験したことのない厳しい夏となっていた。

**9月1日9時30分から、紋別漁業協同組合大会議室において令和5年紋別地区漁船組合員大会（船員大会）を開催した**

紋別地区的船員大会は9月に開催することが労働協約に定められており、4年ぶりの通常開催には4隻<sup>\*</sup>37人の組合員が出席した。

冒頭、渡邊長寿道北支部長が開会を宣言した後、高橋健二中央執行委員と宮川良一紋別市長があいさつをした。続いて来賓の紹介の後、紋別市から船員表彰式（永年勤続20年）があり、丸銀漁業株式会社所有「第81平安丸」から本間鉄雄船長と伊藤功甲板長の2人に、市漁業発展の功績をたたえる表彰状と記念品が贈呈された。

来賓が退席された後、あらためて松本順一北海道地方支部長が「山積する漁業問題の解決と後継者確保につながる意見を賜りたい」とあいさつした。

議案書に沿って、令和4年度活動報告と概要、令和5年度活動方針案、令和5年度労働協約改定交渉について執行部から説明した。

労働協約改定交渉では、賃金改善要求に対する船団の考え方と、船団側申し入れについて解説し、今後の進め方を再確認した。

昨年、意見要望のあった係船場への波の振れ込み防止措置と着底解消については紋別市建設部港湾課の事業計画案を示して説明し、道内免許取得講習会開催については北海道地方支部での検討経過を報告した。

全ての議論を終了し、出席者の理解と承認が得られたことを確認し、11時40分、船員大会を終了散会した。

9月1日午後からは、漁労長4人との懇談会を行い、漁労長から近年の漁獲状況や違法力ニ籠敷設の状況、漁船の代替建造や乗組員確保などについて意見要望が述べられ、意見交換をして共通認識を図り終了した。